

2学期が終了します。

もう正月？あれから一年が過ぎたのか。皆さんはどのような気持ちで、今を迎えているのでしょうか。

私は国語を教えていたので、教科書にも出てくる作家の中島敦さんの作品の中で、主人公が、このようなことを語ります。高校生の皆さんに置き換えて、紹介します。

『大した目標もなく夢もなく、何もすることがなく過ごす生活は、とんでもなく退屈であまりにも長い、これをしよう！これを究めよう！と思い立ったときには、高校生活はあまりにも短く、思った以上に計画が進まないままに時は過ぎ去っていく』と。

こんなことを言って、過去を振り返るシーンがあります。恥ずかしながら、同じように感じたことが私にはありました。過ぎ去った時は戻ってきませんから、自分が過ごした過去をとにかく思うより、今からのことを考えるべきですが、しかし、私が高校生だった時、真逆の考えをしていたようです。過去に縛られ過去の自分の言いなりになっていたように思います。

先ほども言いましたが、過ぎ去った時は戻せません。しかし、未来は、誰にも平等に開けていて、同じ24時間365日が、平等に広がっています。続けたこと、積み重ねたことが、必ずポジティブな財産、昨日よりも少しだけ成長した貴重な自分のものになるはずです。

二学期を振り返ると、多くの行事・イベントがありました。うまくいかなかったこともあったと思います。私の先輩は、「しんどいと思った時が、新しい自分が出来つつある時だ。そこを乗り越えて、振り返ると過去の自分がどれだけ未熟で、今の自分がどれだけ充実しているか、わかるぞ」と言われたことがありました。「今」を大切に経験を積み上げていく、その先に、夢や希望を実現した笑顔の未来の自分達が、あなた自身を待っています。夢や成功は、どこか遠くにあるのではなく、自分の足元に落ちているとさえ言う人もいます。夢や目標を叶える時は、過去や未来ではなく、いつも今現在です。

吉田高校でも教師として勤めていた詩人の坂村真民先生は、間違いか正解かは、それはだれが決めるのかではなく自分が決めることと表現されています。誰のせいでもなく、自分で自分の生き方を決めていくことです。素晴らしい冬休みとなるよう、こんな言葉を見つけましたので、結びに紹介します。

心が変われば、態度が変わる。 態度が変われば、行動が変わる。
行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。

これは、アメリカの心理学者ウィリアム・ジェームズの言葉だそうですが、自分の心の持ちようが、態度を変え、行動を変え、習慣を変え、人格を変える。すべては、表面からは見えない自分の気持ちを、どう見えるような態度や行動、習慣に変えるかが、大切なだと言っているように思えます。気持ちを持ち、行動にして一歩踏み出してみること、決してそう難しいことではないように思います。更に言葉は続いて、

人格が変われば、運命が変わる。

とまで言っています。自分の思いが、自分の運命さえも変えていけるのです。

三年生は、残り少ない高校生活を、それぞれの目標に向け、総仕上げの今となります。一、二年生は、これまで以上の良い冬休みとなるよう、それぞれの今を大事に過ごしてください。

三学期、元気な顔で会いましょう。良い新年を、いい冬休みを。

以上で、私の式辞とします。